

漁業者アンケート調査の概要

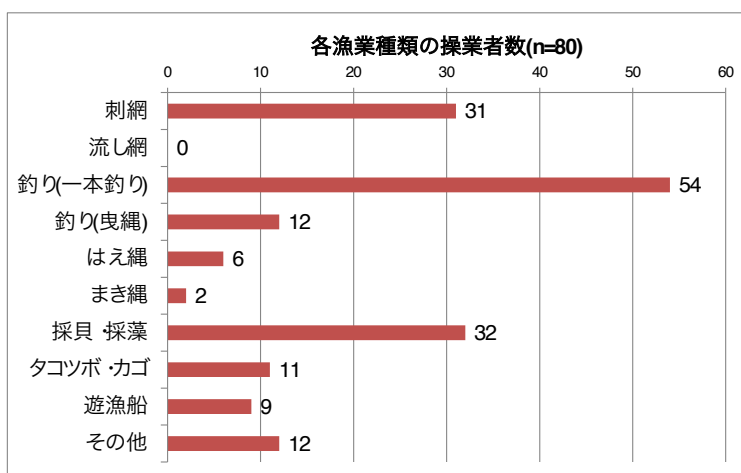
西海大崎漁協（6 支所）所属の漁業関係者 80 名に対し、アンケート調査を実施した。

アンケート調査実施日：平成 29 年 6 月 2 日、7～10 日（計 5 日間）

① 漁業種類別の就業者数

漁業種類別の就業者数は、「釣り（一本釣り）」が最も多く、次いで「採貝・採藻」、「刺網」が多い。

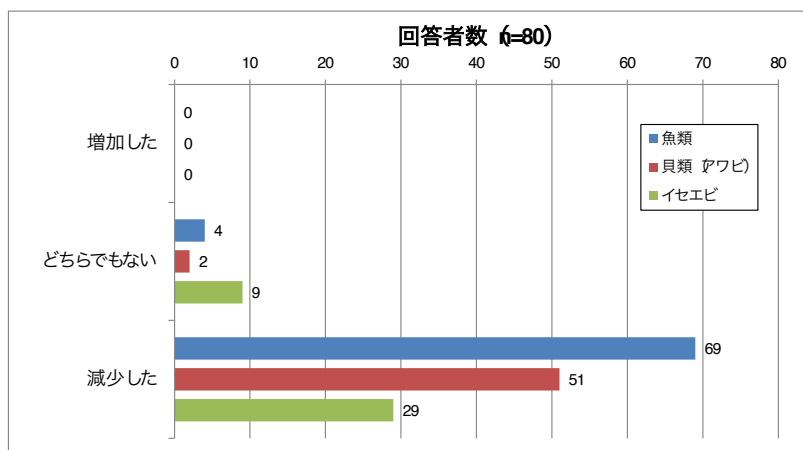
アンケート集計の結果、漁業者 1 人当たりが操業する漁業種類は、平均 2.1 種類であった。



漁業種類別の就業者数（複数回答）

② 漁獲量の変化について

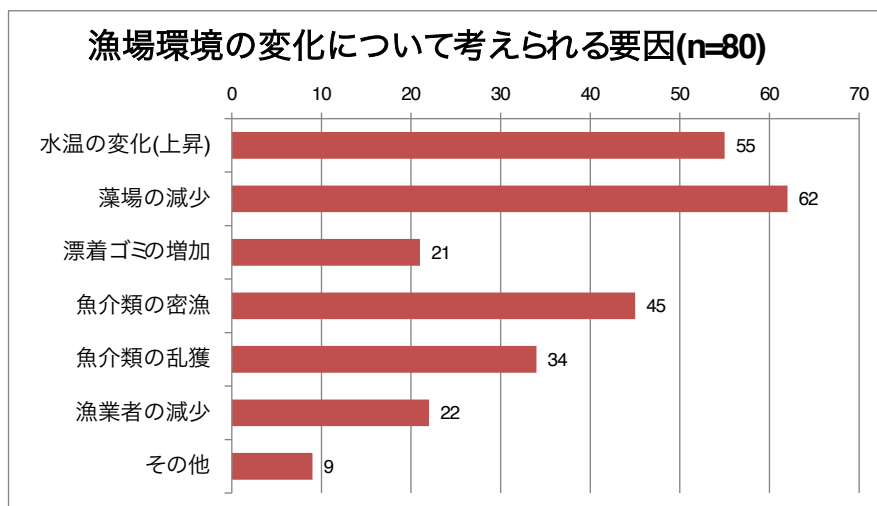
各種の漁獲量の変化は、減少傾向にあるとの回答が最も多かった。



魚類、貝類（アワビ）、イセエビの漁獲量の変化

③ 漁場環境の変化について考えられる要因

漁場環境の変化について考えられる変化要因は、「藻場の減少」が最も多く、次いで「水温の変化（上昇）」が多かった。



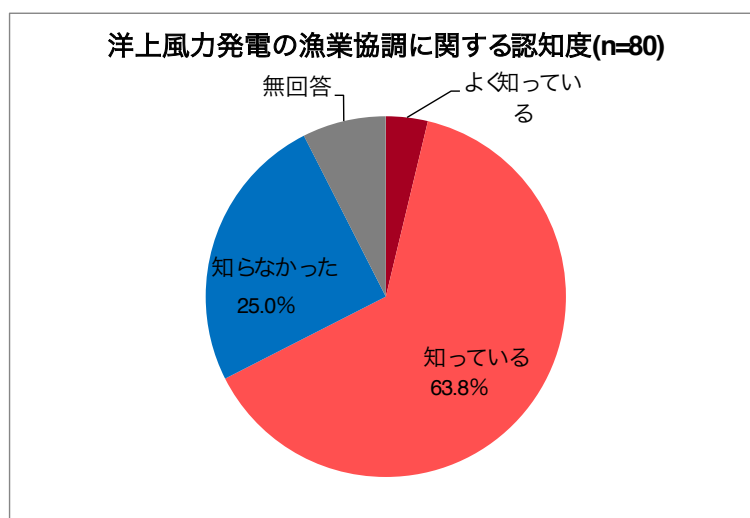
漁場環境の変化について考えられる要因（複数回答）

その他の要因を以下に示す。

刺網の増加、まきえさ放流の為、まきえさ放流の為、中国船の乱獲、護岸の環境の変化(工事による海流の変化)、魚種の変化、南洋化、根魚の増加(オウモンハタ類の増加)、イワシ、キビナなどの小魚が減少したため(釣り)、自然界のほかの要因、磯焼け

④ 洋上風力発電の漁業協調に関する認知度

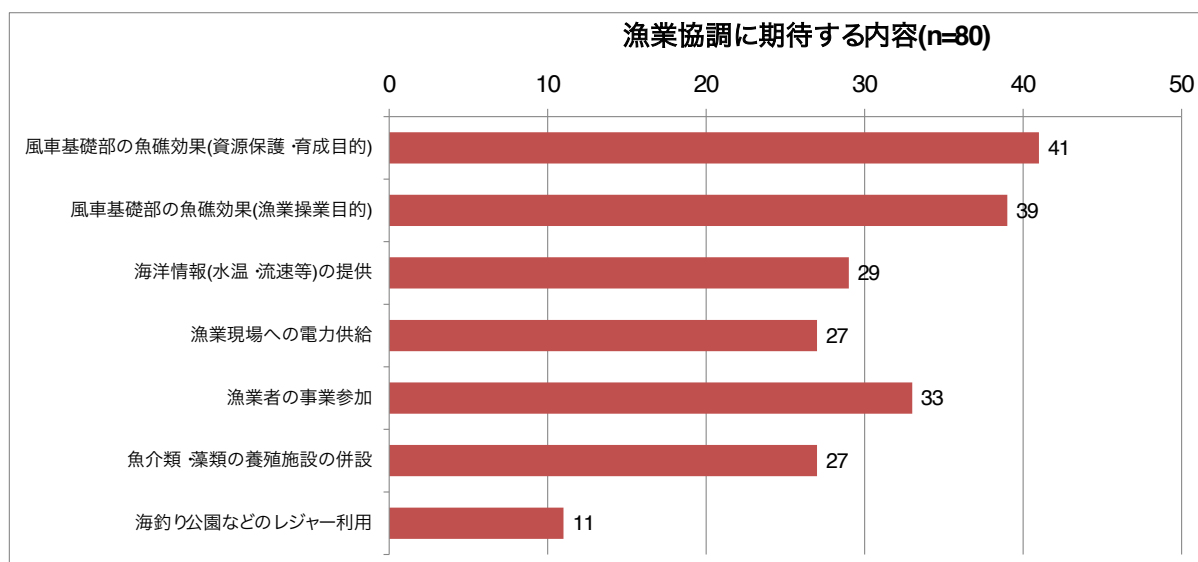
漁業協調に関する認知度は、知っている（63.8％）が最も多く、次いで知らなかった（25.0％）と多かった。良く知っている（3.8％）は僅かであった。



洋上風力発電の漁業協調に関する認知度

⑤ 洋上風力発電の漁業協調に期待する内容

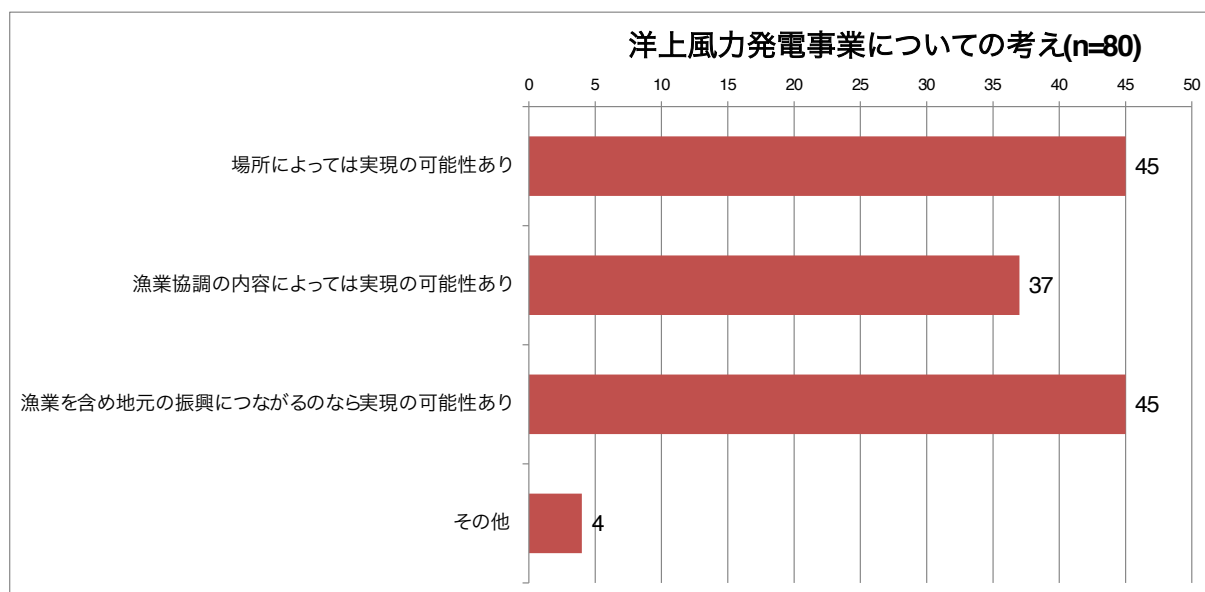
漁業協調に期待する内容については、風車基礎部の魚礁効果（資源保護・育成目的）が最も多く、次いで風車基礎部の魚礁効果（漁業操業目的）、漁業者の事業参加が多かった。一方、釣り公園などのレジャー利用は最も少なかった。



漁業協調に期待する内容（複数回答）

⑥ 洋上風力事業についての考え

漁業協調、地元振興など何れかの対策を行うことで、事業実現の可能性があるとした漁業者は合計65人（全体の81%）であった。



洋上風力事業についての考え（複数回答）

⑦ まとめ

主な漁法は、一本釣り、刺網（イセエビ）、採藻・採貝の３種類である。

魚類、貝類（アワビ）、イセエビの漁獲量は減少傾向である。それらは、藻場の減少、海水温の上昇などの自然的要因によるものと考えられている。

洋上事業の漁業協調は、約 7 割の漁業者に認知されている。風車基部の魚礁効果、漁業者の事業参加（傭船等）に対する期待が高い。

漁業協調、地元振興など何れかの対策を行うことで、事業実現の可能性があったとした漁業者は合計 65 人（全体の 81%）であった。

渡り鳥調査の結果概要

1. 調査概要

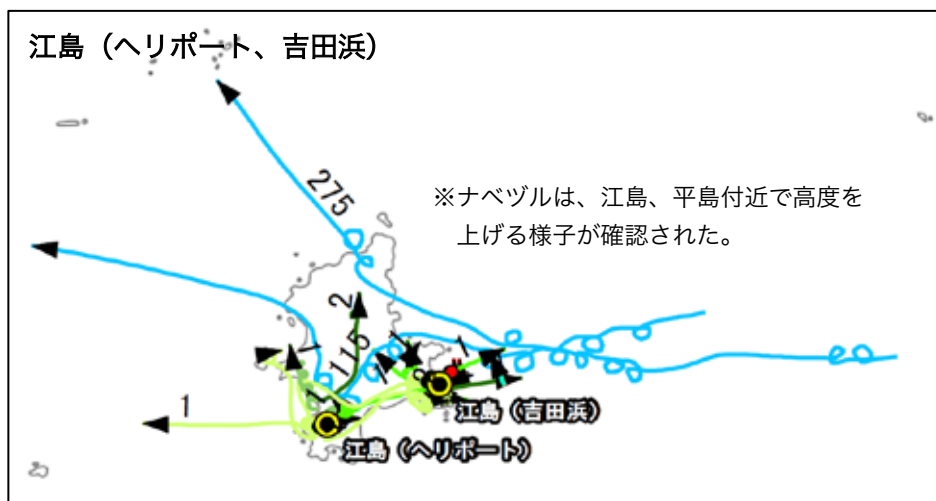
対象範囲の東西方向に 5 箇所の定点を設定し、鳥類の渡り状況を把握するための現地調査を実施した（図 1）。調査項目は、鳥類の種類、個体数、飛翔経路、飛翔高度等、調査時期及び対象種は、平成 29 年 3 月下旬（ツル類）、9 月下旬（ハチクマ）、10 月下旬（ツル類）とした。なお、飛翔高度については、調査員による目測の誤差を低減するため、事前に調査員全員による UAV を用いた目測高度の校正を実施した。以上の結果から、本ゾーニング範囲の渡りルートとしての利用状況を把握し、ゾーニングにあたっての配慮事項を検討するための基礎資料とする事を目的とした。



図 1 調査位置図（虚空蔵山～上五島空港の断面の渡り状況を把握する配置）

2. 調査結果の概要

① 第 1 回調査（平成 29 年 3 月 21 日～23 日）



■ツル類の渡り状況

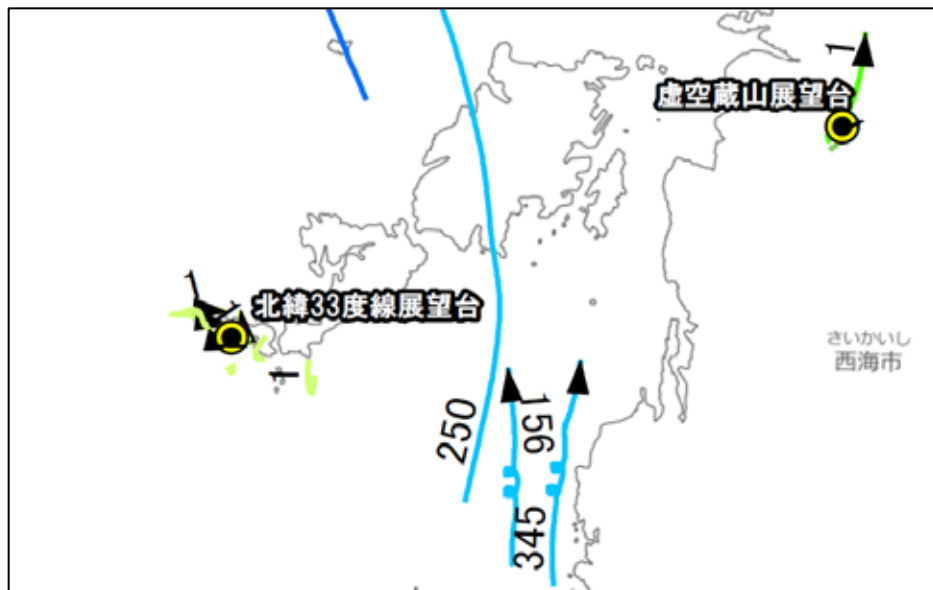
3/22

13:38 ツル類 150 羽 高度 500m
 14:19 ナベヅル 275 羽
 高度 200mから 600mに上昇
 14:30 ナベヅル 115 羽
 高度 200mから 500mに上昇

凡例

- 観測地点
- ゾーニング範囲
- カラスバト
- ヒメウ
- ミサゴ
- ハイタカ
- サシバ
- ハヤブサ
- ナベヅル
- シロチドリ
- カンムリウミスズメ
- カラスバト

北緯 33 度線展望台、虚空蔵山展望台

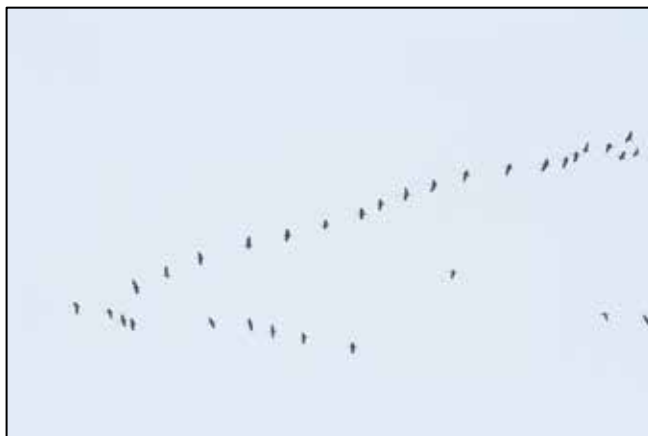


3/22

13:17 ナベヅル 156 羽
高度 200m～250m
13:25 ナベヅル 250 羽
高度 200m～1000m
13:41 ナベヅル 345 羽
高度 700m～900m

凡例

- 観測地点
- ゾーニング範囲
- ミサゴ
- ナベヅル
- ツル類



3/22 江島 ナベヅル



3/22 上五島空港 ナベヅル (帆翔状況)

② 第 2 回調査 (平成 29 年 9 月 27 日～29 日)

■ハチクマの渡り状況

9/28

北緯 33 度線展望台 ハチクマ 7 羽

江島 ハチクマ 35 羽 南→平島→南西方向に移動

9/29

江島 ハチクマ 14 羽 北→南西方向に移動

上五島空港 ハチクマ 500 羽以上 平島方向から
南西・西に移動



3 第 3 回調査 (平成 29 年 10 月 31 日～11 月 2 日)

■ツル類の渡り状況

10/31 江島 ツル類 67 羽 確認